

ちょっといい話

毎日新聞

コラム

ウォルト・ディズ

ニー・カンパニー、フ

ォード・モーター、エ

ステイローダーとい

えば、どれもアメリカを代表

してきた有名企業である。

ではこの3社と、アメリカ

の今を代表する次の3社の全

てに共通する点は？ アップ

ル、アマゾン、アルファベッ

ト（グーグル）の3社だ。

答えは、創業者本人か、創

業者の親が移民の企業。

これらはほんの一部に過ぎ

ない。起業に関する研究や政

策提言を行うセンター・フォ



sui-setsu 福本 容子

水説

ー・アメリカン・アントレプ

レナーシップ（CAE）とい

うところが米大手500社を

調べてみたところ……。

何と43%の企業で、創業者

本人かその親が移民、という

結果が出た。特に上位35社で

は57%にもなった。

では、もしも移民の彼らが

これからの日本にやってくる

としたら、どの区分に振り分

けられるだろう。「専門的な

資質や能力があると認められ

る高度人材」「相当程度の知

識や経験を持つ特定技能1

号」「より熟練した技能を持

つ特定技能2号」

人手不足に切羽詰まり、新

設されるのが1号と2号だ。

単純労働の分野も可。2号は

家族も連れて来られる。

ただし、いったん人手不足

が緩んだ業種は、そこで打ち

止めらしい。移民の受け入れ

とは違いますが、と。

トランプ米大統領が反移民

政策をとった際、アップルの

最高経営責任者、ティム・ク

ックさんはこう言い切った。

「移民なくしてアップルは存

在し得ない」

常に新しいビジネスが育つ

てきたのは、幅広い人材に門

戸を開いてきた結果だ。自己

都合の選別により計画的に実

現させたわけではない。

「グローバル人材」。企業

も大学も政府も、おまじない

のように唱える。では、その

企業、大学、政府の幹部に、

「私、グローバル人材です」

と胸を張れる人がどれくらい

いるだろう。

さまざまな世界の人たちと

交わる力を備えた人がまず少

なく、いても十分活躍させて

もらえないところに、日本の

弱さがある気がする。

そういえば、国外にルーツ

を持つ世界的起業家が日本に

もいた。米経済誌フォーブス

の長者番付で日本一、世界39

位の孫正義さんだ。

子ども時代、在日韓国人と

いう理由で差別を受けた。国

籍も人種も関係ないというこ

とを証明したかった。「事業

家になる種を見つけに」向か

ったのはアメリカだった。40

年以上も前の事だ。

その後、日本は様変わりし

た。果たしてそう言い切れる

だろうか。（論説委員）